

# JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 10 陣の記録 ものづくり・技術交流 対象国:カンボジア、タイ

#### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、カンボジアより大学生及び大学院生 20 名が、タイより高校生・大学生 11 名が、2018 年 10 月 30 日~11 月 6日の日程で来日し、「ものづくり、技術交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都内で講義を聴講後、国別グループに分かれ、カンボジアは静岡県、タイは北海道を訪問し、テーマに関連する視察や関係者との意見交換、ホームステイを通して地域の人々と交流をしました。また、視察や交流を通して、日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】2 か国・31 名 (内訳) カンボジア 20 名、タイ 11 名 【訪問地】東京都、北海道(タイ)、静岡県(カンボジア)

#### 2. 日程

	カンボジア	タイ
10月30日(火)	来日、オリエンテーション	
10月31日(水)	【日本理解講義の聴講】SIMA国際経営研究所 木村 秀夫氏	
	【文化視察】浅草寺、【最先端技術視察】日本科学未来館	
11月1日(木)	東京都から静岡県へ移動	東京都から北海道へ移動
	【学校交流】国立大学法人静岡大	【文化視察】名勝旧岩船氏庭園
	学浜松キャンパス	(香雪園)
		【学校交流】独立行政法人国立
		高等専門学校学校機構 函館工
		業高等専門学校
11月2日 (金)	【文化視察】掛川城	【テーマ関連の視察】北海道立工
	【テーマ関連の視察】伊藤園 静	業技術センター
	岡相良工場	【文化視察】五稜郭公園・タワー
	【ホームステイ】掛川市川根本町	【学校交流】学校法人遺愛学院
		遺愛女子高等学校
		【ホームステイ】函館市
11月3日 (土)	【ホームステイ】	【ホームステイ】
	【文化体験】伝統工芸・神楽笛作	

	り、茶道	
11月4日 (日)	【地域住民・企業関係者との交流	【地域住民・関係者との歓送会】
	会】産業文化祭	【ワークショップ(報告会準備)】
	【ワークショップ(報告会準備)】	
11月5日 (月)	静岡県から東京都へ移動	北海道から東京都へ移動
	【視察】お台場	【ワークショップ(報告会準備)】
11月6日 (火)	【成果報告会】帰国	

# 3. プログラム記録写真

カンボジア・タイ (訪問地:東京)



10月31日【日本理解講義の聴講】

10月31日【文化視察】浅草寺





10月31日【最先端技術視察】 日本科学未来館

11月6日【成果報告会】

カンボジア (訪問地:静岡県)



11月1日【学校交流】 国立大学法人静岡大学浜松キャンパス



11月2日【テーマ関連の視察】 伊藤園 静岡相良工場



11月2日【文化視察】掛川城



11月3日【文化体験】伝統工芸・神楽笛作り

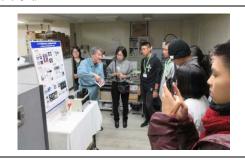
### タイ (訪問地:北海道)



11月1日【学校交流】独立行政法人国立 高等専門学校学校機構 函館工業高等 専門学校



11月2日【文化視察】五稜郭公園



11月2日【テーマ関連の視察】 北海道立工業技術センター



11月4日【学校交流】 学校法人遺愛学院遺愛女子高等学校



11月2日~4日【ホームステイ】



11月5日【地域住民・関係者との歓送会】

### 4. 参加者の感想(抜粋)

### **◆** カンボジア学生

講義では、日本について多くのことを知ることができました。日本も海外から石油や食料品等、多くのものを輸入しているとは思っていませんでした。静岡大学の皆さんは、

大変フレンドリーで、親切でした。私達に学食を案内してくれ、お互いに楽しくコミュニケーションが取れました。 更に、学生が試作品を作る次世代ものづくり人材育成センターで、世界で初めてブラウン管上で 「イ」の文字を映し出すことに成功した高柳先生の功績を称える記念館を見学できたことは最高に嬉しかったです。伊藤園相良工場での見学で大変興味を持ったのは、茶殻をリサイクルして別の商品にする工夫です。例えば茶入り紙製品 、茶殻入り折り畳みチェア、茶入りベンチ、茶入りフィルム等、会社が新製品の開発、品質管理、茶殻再利用の可能性を研究するための研究所を持っているのです。企業の取り組みと責任感に驚くとともに尊敬の念を抱きました。

## ◆ カンボジア学生

プログラムの一日目は、日本の経済、技術、地理、宗教、文化等について多くのことを学び、日本に関する知識をより広げることができました。浅草は、歴史的に素晴らしい所であり、日本の文化、宗教を多く知ることができました。日本科学未来館では、ロボット等の先端技術を沢山見ることができ、素晴らしい場所だと思いました。静岡大学で、私は大学の教育システムについて知り、日本人大学生と外国人の留学生とも交流できて、多くのことを学びました。伊藤園でのお茶の生産・包装をする工場の見学、商品の説明は、ともに大変すばらしいものでした。特に忘れられないのは日本人の家に泊まる経験です。川根本町のホストファミリーの皆さんは私達を大変親切に優しく迎えてくれました。美味しい料理を御馳走し、日本の伝統衣装である着物を着せてくれました。JENESYS 2018 に参加できたことは私にとって大きな出来事であり、プログラム内容のすべてが私の人生の中で一生忘れられないものとなりました。

#### ◆ タイ学生

日本理解の講義は、日本の文化と伝統についてのお話と日本の歴史について、よく理解することができました。その後、函館高専を訪問したときに、高専の先生が日本の教育事情について説明してくれましたが、明確で日本の教育の全体像がよくわかるものでした。そこで、日本の教育は、自分の好きな専門を選択する前に、生徒達は様々な教科を学ぶことができることに驚きました。

### ◆ タイ学生

最初、私たちは日本人の家で一緒に生活をするには、自分たちが、時間に正確な日本の生活に合わせなくてはいけないことが、たくさんあるのだろうと思っていました。しかし一緒に生活してみると、思っていたような心配や怖がっていたことはまったくありませんでした。ホストファミリーは、心から歓迎してくれましたし、「どうしたの?大丈夫?食べられる?」と尋ねてくれました。一緒に外出もして、私たちは多くのものを見て楽しむことができました。お別れの時には、私の家族へのお土産もくださり、最後に車で送って頂きましたが、別れる時に、泣いてしまいそうになりました。

#### 5. 受入れ側の感想

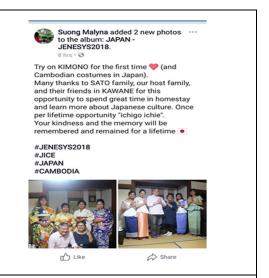
#### ◆静岡大学職員

カンボジア人の学生が、日本に対してとてもポジティブな印象、素直にいろんなことを 見て、感じている様子が新鮮でした。

#### 6. 参加者の対外発信



【カンボジア学生】学校交流は、これまで 出会ったことがない、最高の思い出です。 君たちと知り合えて、良かったです。日本 人の友よ!



【カンボジア学生】ホストファミリー宅で、日本和装着付けをしてもらい、日本文化を学びました。私たちの人生にとって、たった一度の「一期一会」でした。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



#### 【カンボジア】

プログラムの経験を、家族、学校、SNS 等を利用して、多くの人と共有します。 この行動により、日本の環境、近代化な どをより理解できる人が増えるようにな ることを期待しています。

# 【タイ】

東京から北海道までの日本滞在の経験を 広報するため、私たちは、日本の文化・ 技術・社会などに関心を持っている人た ちに、私たちの facebook 等の SNS へ写 真や感想などの体験談を掲載し、質問や コメントに回答したり、随時、情報をア ップデートしていきます。